

□議員名：吉永美子

1 地方創生臨時交付金の活用による事業について

論点	国の第2次補正予算では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充しているが、事業について考えを聞く。
回答	拡充分についての詳細はまだ国から示されていないが、使途等の方針が示された後に、本市において必要な施策を決定することになる。コロナ後の生活様式の変化への対応を見据えつつ、市民や団体等の声を聞きながら、検討していきたい。

論点	山陽小野田市への交付限度額が決定されていく中、現場の声をよりしっかりと吸い上げているということを明らかにしていく形での実施計画を出すべきではないか。
回答	今から第2次補正について、国や県から指示が来ると思う。また各課からそれぞれ施策を出してもらおうようになると思うが、その際にはしっかりと関係する方々の声を拾うということを念頭に置いて取り組んでいきたい。

論点	シルバー人材センターから委任を受けて学校の管理業務を行ってきた市民が、コロナの関係で学校が長期休業になったことにより、収入がゼロとなった件で、臨時交付金を使用して助成できないか聞く。
回答	シルバー人材センターは一定の収入等々を補償するものではなく、生きがいを得るための就業に主眼を置いた仕組みであると理解しているので、現在のところ、シルバー人材センターの会員に対する支援については考えていない。

2 新型コロナウイルス感染症に備えた避難について

論点	公明党は、新たな防災・減災・復興政策検討委員会の下、コロナ禍を踏まえた防災・減災対策を進めている。避難所における感染症予防のための備蓄について聞く。
回答	梅雨が本格化する中、避難所開設の可能性が高まるので、現在、感染症対策に至急必要な物資として、マスク、消毒液、非接触型体温計、パーティションを考えている。マスクについては、企業から寄附を頂いてい

	ることから十分な備蓄数がある。消毒液、非接触型体温計、パーテーションについては購入の手続を進めており、6月下旬から順次備蓄していく。
--	--

論点	消毒液、非接触型体温計、パーテーションの購入を進めているとのことだが、備蓄について考えを聞く。
回答	消毒液（4つ）、体温計（2つ）については、13カ所の第一次避難所に備蓄、パーテーション（2つ）については、市役所及び厚狭地区複合施設の防災倉庫に備蓄したい。現在の数については、至急必要だということ考えており、今後は備蓄計画等を立てながら進めていきたい。

論点	備蓄計画を立てていく中で、具体的に感染症を防ぐための備品が必要だと思うが、フェースシールドや段ボールベッドなどについて備蓄の考えを聞く。
回答	フェースシールドについては、健康増進課にも備蓄があるので、それを活用したい。段ボールベッドについては、現在10個程度、備蓄はある。それで足りるとは考えてはいないが、中長期的な避難所になった場合については、協定している事業所等からの貸与していただいている。

論点	現在の避難所開設運営マニュアルには、まだ感染症への対応について明記されていない。今のうちに急ぎ、感染症を予防し、拡大を防ぐための対応を追加すべきではないか。
回答	今手配している物品等は6月下旬から順次そろえていけるのではないかと考えているので、それがそろい次第、夏以降に訓練を行って、訓練の成果を見ながら改訂をしていきたい。

論点	市は災害時の避難再検討を市民に対して投げかけるということだが、ホームページや広報紙以外に防災手帳など、市民にしっかりと情報が届く手法を取るべきではないか。
回答	議員が言うようなものについて、特段これだというものを検討はしていないので、今後、作成を含めて検討したいと思う。

論点	リスクのある方を感染症から守る観点から、より多くの避難所を開設するため、公的施設やホテル・旅館などの活用の考えを聞く。
回答	避難場所や避難所以外の施設の確保について、現在、ホテルなどと協議を始めているところであり、鋭意協議を進める中、施設の確保に努めていく。学校の教室については、ガイドラインを作成している4校（厚狭小学校、高泊小学校、須恵小学校、赤崎小学校）以外とも協議を重ねる。

論点	避難所になる施設で平時に市民が多く訪れる施設や市役所などの公共施設に、少しでも多く安価なスポット Wi-Fi の設置を提案する。
回答	スポット Wi-Fi については、検討した結果、容量に限度があるなどのデメリットもあるので、現在考えていない。

3 公立保育所における労働環境整備について

論点	本市の公立保育所について労働環境整備の必要性を大変感じて、担当課に現場の調査を依頼していたが、状況への認識を聞く。
回答	議員の指摘のとおり、現在の公立保育所の保育現場では、ICTに関する環境は充実したものではないという認識を持った。各園には、職員室にパソコンが数台設置しているだけで、職員は、この数少ない台数のパソコンを工夫しながら共用し、毎月の園だよりや給食献立表の作成、園行事や保育活動に必要な制作物の作成を行っている。

論点	パソコン整備については本庁と大きく差があるが、今後の環境改善について考えを聞く。
回答	ICT導入をはじめ、事務作業、業務フローなどの見直しを図る中で、保育士業務の負担軽減にできるように、保育現場の意見をくみ上げながら環境の改善に努めていきたい。